

# 感染性胃腸炎に注意！

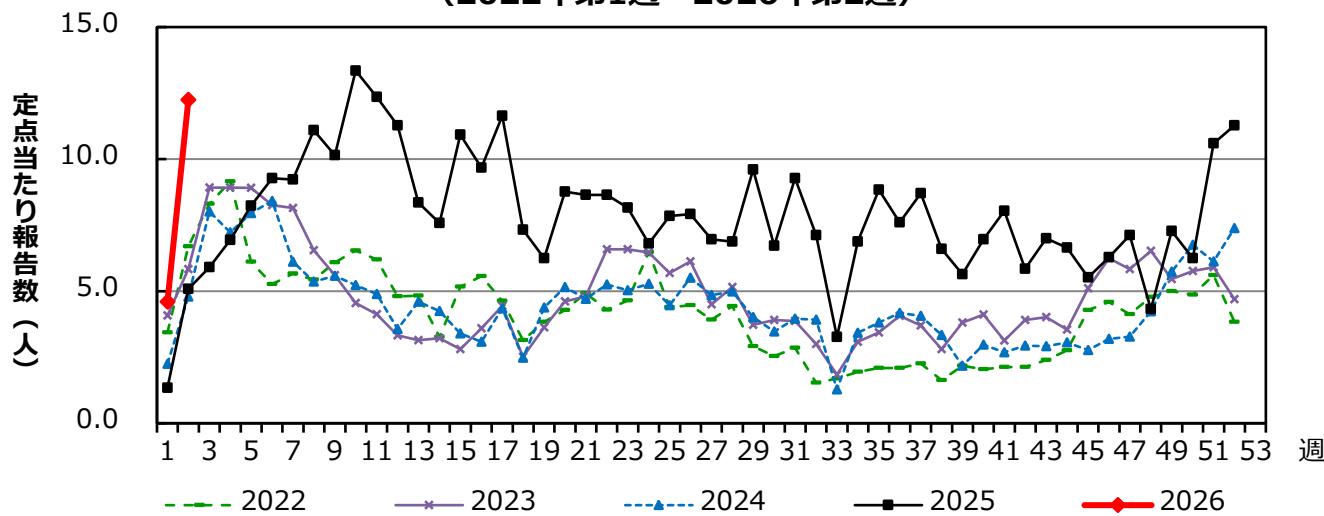
感染性胃腸炎は年間を通して報告されていますが、冬は特にノロウイルスによる感染症や食中毒が増加するため、注意が必要です。

## ◆ 県内の最新の流行状況 2026年第2週（1月5日～1月11日）

県全体の1定点医療機関当たり報告数は**12.24人**となりました。

地域別では、西毛地域（18.13人）から多くの報告がありました。

群馬県における感染性胃腸炎報告数の推移  
(2022年第1週～2026年第2週)



## ◆ノロウイルスによる胃腸炎にかからないためには？

- ノロウイルスはアルコール消毒薬が効きにくいウイルスです。石けんで丁寧に手を洗うことが大切です。トイレの後、おむつ交換の後、嘔吐物や糞便で汚れたものを扱った後は、必ず石けんで手を洗いましょう。
- 二枚貝（カキなど）は、中までしっかり加熱しましょう。  
(目安：中心部の温度が85℃～90℃で90秒以上)

## ◆ノロウイルスによる胃腸炎をうつさないためには？

- 嘔吐物や糞便で汚れた衣類や場所は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）による消毒が効果的です。消毒薬を使えない場合は、熱湯やスチームアイロンの蒸気で加熱消毒します。
- 汚物を片付ける時は、使い捨ての手袋、ビニールエプロン、マスクを身に着けましょう。
- 症状があれば、早めに医療機関を受診してください。乳幼児や高齢者は、重症化することがありますので、体調の変化に注意しましょう。

### 嘔吐物の処理方法



<https://www.pref.gunma.jp/page/19740.html>